



学校通信

白 檀 南 だ よ り

檀原市立白檀南小学校

2022年10月5日

☎ (27) 5488 Fax (27) 5582



正門近くのシロ花ヒガンバナ



昨年と比べて、2-5度暑くなった9月でした。夏のような、よく晴れる日が多かったと思います。職員室の前には今センニチコウが愛らしく咲いています。センニチコウは花の色が変わらないところからこの名前が付いているそうです。乾燥させても色が落ちにくいので、ドライフラワーで見える方が多いかもしれない花です。もともと中央アメリカ地方の原産で夏の暑さに負けない耐暑性があります。花ボランティアさんたちが、子どもたちにも夏の暑さにも負けないようにうえて下さったのだと感じまし

た。

昨年9月に書かせてもらいましたが、SDGs(持続可能な開発目標)。「世界的な問題を整理し、何に取り組みばいいのかわかりやすくした目標」について探求的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習で行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育てることを目指しています。そこには17の目標があり「飢餓」「貧困」「ジェンダー」等々あるなかに「平和と公正をすべての人に」という項目があります。平和教育は、ここ何十年も小・中学校と取り組む内容の一つでもあります。今ある情景も「今」の状態がいつまでたもてるのか…。そういった学習を次の世代を担う子どもたちに、学習を進めていこうとしています。どの学年も系統的に取り組む中で、6年生はこの9月28日29日に広島へ修学旅行に行き参りました。広島で平和も誓いながら、原爆体験の伝承者三島さんから話をいただきました。戦後78年となり実際に被害に遭われた方たちもかなりのご高齢になり、その意志やその当時の状況や思いを伝えてくださる方たちによって現在知ることができるようになっています。三島さんのお話は笠岡貞江(90)さんの体験記です。

お話のどの部分を切り取っても、戦争の醜さや悲惨さがとてもよく伝わってきました。私もその話にぐっとこみ上げてくるものがあり、同じように子どもたち数人も感じました。原爆資料館の展示内容や三島さんのお話のための資料に怖さを感じる子もいました。三島さんは、「戦争を伝えなければ、人は忘れる」(怖さもあるけれど本当にあったことを)「知ることは大事、歴史を知って自分はどうか対応するのか、是非今日聞いたことはお家で伝えていって欲しい」と言っておられました。



今後6年生は、フィールドワークで感じたことやまとめたこと、笠岡さん、三島さんのことを全校のみんなにも報告する予定です。最後に三島さんは、(自分一人では生きてはいない。生きられなかった人の分もしっかり生きよう)とみんなに伝え、相手の立場を分かり、自分のことを大切にしたい、とくられました。お話も終わり、子どもたち一人ひとり真剣にきいていたので本当にいい学びをできたことと思っております。出口でも数人は何か三島さんに伝えたいかと思いましたが、時間も無く別れ寂しになりましたが、きっと手紙か何かでつながっていくことであると思っているところです。どの諸問題にも「自分だったら何ができるのか」を軸に学習に取り組み、考えていくことがとても大切です。学校の取り組みや教科領域の学習で地域の皆様からお知恵をいただくこともあろうかと思っております。一つに地域を守り伝統を大切にしながら次世代を過ごしていくあり方に、皆様のご指導とご支援が欠かせません。その節にはどうかよろしくお願いたします。

## 全校朝会で

子どもたちに全校朝会で『なりたい自分』についてお話しています。夢を持つ話は春にしたのですが、大人でも「夢」について聞かれると少し不明瞭なところが多く、はっきり言える人は少ないのではないかと考えると、子どもではなかなかはっきりとした夢やその見通しなどはもてないかなと思います。そこで「自分にはどんな力が身に付いていて(身に付けて)、何ができるのか」に向けて、自分はこうありたいという目標づくりを伝えています。それが「なりたい自分」であり、資質や能力を身に付けるために主体的に取り組んでいける手立てとなります。

そんな目標に例えば○自分のことは自分でできる○まわりの友達と関係づくりができる○いつも笑顔で接することができる○あったことをくよくよせず、前向きな自分でいられる○家庭や家や習い事の時間配分がコントロールできる○家族の一員として協力できる○学習や手伝いなどを時間を無駄にすることなく進められる等、こうありたい自分を見つけ、そのために

- ・小さな目標をたてて進められる
- ・できなくても最後まで計画変更なく諦めないように努力する
- ・自分の感情(イライラ、ムカムカ)がコントロールできる。
- ・自分を大切にする
- ・小さなことからたくさん経験をつむ
- ・人の話が聞ける。また言い換えられる
- ・記録したり、説明できたり、することの優先順位が分かたり……………。

「なりたい自分」に向け解決する方策はたくさんあります。ぜひ作って行って欲しいです。

ある有名な落語家さんがトーク中に『家をきれいにする、約束を守る、お礼のお手紙を書く、そういう基本をきっちり続けることがなりたい自分を作ってくれたのだと思います』という一言がとても心に残っています。本当に一つ一つが小さな目標ですが、やっていくとでいろんなことに派生し、いろんな力が身に付いていくのだと信じて疑いません。

どの子どもたちも、「なりたい自分」を目指し

- はっきりとした計画を立てる。
- どんなことにも挑戦する。
- できたところだけ、自分で褒め何ができているのか認識する。
- 計画通り行かないときには、なぜなのかをしっかりと振り返る。
- 「どうせ…」とか「わたしなんか…」と絶対に考えない。

ドラえもんも、こういっています。「いちばんいけないのは、自分はだめだと思い込むことだよ」学校でも、家庭でも、地域でも、習い事先でも是非『なりたい自分』づくりを進めて欲しいところです。



10月、11月は、いろんな行事が多いです。特に白檀南小学校としての最後の行事になるのでいろんなところに南小児童として記念や思い出となるように計画を進めているところです。10月28日の運動会では、今まで保護者入場制限をして感染リスク下げること考えていましたが、保護者の方や地域の方にもきていただけるようにしました。これまで、感染拡大がないよう短時間で終われるように内容を縮めていましたが、PTA役員さんとも協力しながら、楽しく終われるようにPTA競技も考えてもらっています。また、記念となるものとして、団扇を制作いたします。各学年の記念の写真の片面と裏面には学年や個人で考えたものを書き込んでもらうつもりです。また11月10日の休日参観後の「ふれあい広場」にもPTA役員の方々、子どもたちのためにいろいろ考えてもらって実施される予定です。

閉校式は、**3月20日(水・祝日)**に実施いたします。3月21日は振替休日となりますのでお知りおきください。閉校式に向けて5、6年生にも知恵を出し合ってもらい、自分たちの学校の閉校式を自分たちで作り上げていけるよう、今準備に取りかかっているところでもあります。毎回書いておりましたが、2023年度の南小での学校生活を思い出深く終われるようにしていきたいと思っております。